

日本における Surgical Oncologist のありかた委員会班

班代表

千葉大学 名誉教授 磯野 可一

今年度の委員会メンバーは表のごとくである。

委員会は、平成18年5月31日16:00~16:30、京王プラザホテル 44階「アイリス」で開催された。

出席者は以下のごとくである。(敬称略)

磯野可一、生越喬二、幕内博康、前原喜彦、新津洋司郎、松島綱治、松川正明、張ヶ谷健一、門田守人。

はじめに、生越委員より出席をしたWFSOS(2006年9月21日~24日 インド開催)の報告がなされた。その場で、本班で検討された教育システム(案)(W'Waves Vol.12, No.1, p. 65, 2006を参照)を報告したことが報告された。問題点として、WFSOS自体、明確なSurgical Oncologistの定義、概念がないとの指摘があった。

その後、Medical Oncologist(日本では日本臨

床腫瘍学会)とSurgical Oncologistとの関係に関し議論された。

外科医(主に消化器外科医)自体が日本ではすでに、Surgical Oncologistではないのか、そのことを日本では、日本臨床腫瘍学会が認めていないことが問題ではないのか、日本癌治療学会のがん治療専門医制度との関係に関しても議論された。

日本癌治療学会理事長の門田委員の出席により、日本癌治療学会でも日本における外科医、主に消化器外科医の前述の特殊性を考慮したいとの意見が出されたが、日本国内の現状から、すなわち、日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会ならびに全国がんセンター協議会(全がん協)などが、がん治療認定医の育成のための「がん治療認定医制度」を発足させる動きが見られるので、本委員会班の今後の活動については、生越日本癌病態治療研究会会長に一任された。

委員会メンバー

(順不同)

班代表	磯野 可一	千葉大学	名誉教授		
班員	生越 喬二	東海大学医学部	消化器外科	班員	前原 喜彦
	加藤 抱一	国立がんセンター	外科 臨床検査部長		九州大学大学院医学研究科
	上西 紀夫	東京大学大学院医学系研究科	臓器病態外科学消化管外科		消化器・総合外科(第2外科)
	久保田哲朗	慶應義塾大学医学部	一般消化器外科		幕内 博康
	佐藤 昇志	札幌医科大学	病理学第1		東海大学医学部
	新津洋司郎	札幌医科大学	第4内科		松川 正明
	張ヶ谷健一	千葉大学大学院医学研究科	腫瘍病理学		昭和大附属豊洲病院
					消化器科
					松島 綱治
					東京大学大学院医学系研究科
					社会医学専攻社会予防医学講座分子予防医学
					門田 守人
					大阪大学大学院医学系研究科
					消化器外科学
					山岸 久一
					京都府立医科大学大学院
					学長
					山名 秀明
					久留米大学
					集学治療センター